|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　名 | （フリガナ）　　　（ファミリーネーム） 　　　 （ファーストネーム）（漢 　字）（ローマ字） |
| 所属機関・職 | （学生の場合）指導教員名： |
| 生年月日 | １９　 　年 　 　月　 　日（現在　満 　　才） |
| 学　 位 | 博　士 | 修　士 | 学　士 |
| 年　　 月大学 | 年　　 月 大学 | 年　 　月大学 |

**海外渡航助成申請書**

各項目のサイズは変更可、ただし、全体で2ページを超えないこと。本テキストボックス、水色の文字は提出時削除すること。応募資格：博士課程後期学生、ならびに若手研究者（産学官問いません）

提出先：電子メール zmpc2018@jaz-online.org　締切：2019年5月20日

Ⅰ　講演・発表の概要

|  |
| --- |
| １　国際学会等の名称The 19th International Zeolite Conference (IZC**’**19) 　会期：2019年7月7日～12日場所：Crown Towers Perth, Great Eastern Highway Burswood, WA 6100 Australia (URL：<http://izc19.com>) |
| ２　講演・発表題目講演・発表の形式：口頭、ポスター、RRRポスター等英文題目：発表者：講演番号（あるいは発表申込番号）：： |
| ３．渡航計画渡航費用（概算可）：出張期間： |
| ４　参加登録番号： |
| ５　講演・発表の概要　（学問上の貢献を含めて記述すること） |
| ６　特記事項（あれば） |

Ⅱ　研究業績等

|  |
| --- |
| １　今回の渡航に関連する海外活動（セミナーにおける講演，研究打合せ，その他の交流）の概要例１）申請者は現在〇〇に関する研究に注力している。IZC’19のキーノート講演者の〇〇大学の〇〇先生と打ち合わせを予定している。すでに〇〇先生とはメールを通じ共同研究の打診を行っており、了承を得ている。共同研究では現在申請者が取り組んでいる〇〇に関する研究をベースに、△△を目標としている。申請者は〇〇の合成と触媒性能評価を、〇〇先生は構造解析を担当する予定である。これらのことについて現地にて打ち合わせを実施予定である。また、本学会終了後、10月頃に申請者が〇〇先生を訪問し、進捗報告会ならびにセミナーを開催する計画についても意見交換する。これらを通じて将来的に、日本のゼオライト関連分野の活動を牽引していきたい。例２）申請者は現在〇〇に関する研究に注力している。申請者が合成した物質の詳細な構造解析、ならびに新規応用が課題になっている。今回、構造解析が強いグループと積極的に意見交換し、ネットワークの構築を目指し、将来の共同研究へと展開したいと考えている。これらを通じて将来的に、日本のゼオライト関連分野の活動を牽引していきたい。例３）申請者はD2の学生であり、〇〇に関する研究を行っている。学位取得後、海外でのポスドクを考えている。プレナリー講演者である〇〇先生に興味をもっており、本学会において情報交換したいと考えている。また海外の学生、若手研究者との個人的なネットワークの構築のためにもプレカンファレンススクールにも出席し、積極的に交流する予定である。これらを通じて将来的に、日本のゼオライト関連分野の活動を牽引していきたい。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| ２　研究業績（最近５年間に発表した主な著書、論文等について、著者、題目、学会誌名、巻、号、発表年月日、掲載ページを記入すること。最大３報まで記載のこと。） |
| ３　主な職歴　 |
| ４　過去３年間に出席した主な国際会議等への出席状況 |
| 会 議 名 称 | 開催年月 | 役 割 | 旅費の出所 |
|  |  | 招待講演、口頭、ポスター発表、実行委員等 | 研究室、学内や学外（他学会、団体）からの旅費支援等 |
| ５　科研費、学振、その他の研究費の採択状況　（申請者が代表のものについて採択課題名および研究費の額を記載下さい） |